

北海道開拓の村 デジタルブック むらだより

Vol.25(2026.3)

いよいよ、春がやってきました。

開拓の村の2026（令和8）年度のイベントは、公式HPで公開しています。

2026年度も、皆様に、当時の生活や文化に触れながら、楽しんでいただけるイベントをご用意しています。引き続き、みなさんのお越しをお待ちしております！



銀世界だった
開拓の村に
春を告げる
鮮やかな緑色の
フキノトウ

お知らせ
旧北海中学校
公開！
NEWS



お待たせいたしました！

昨年3月より工事のため閉鎖となっていた旧北海中学校が、4月より公開となります。北海道（北海道博物館）により展示整備が行われ、内容も一新されました。パネル展示は、北海中学校の歴史はもちろんのこと、北海道での教育の歴史、戦争時の様子や行事・給食にいたるまで、初めて見る方にもわかりやすい内容となりました。

他にも新設された展示がありますので、皆様の学校生活を思い出していただきながら、ぜひご覧ください。

今月のむらの一品、逸品！



理髪店の中にある

下駄

© 北海道歴史文化財団

国家資格が未だなかった時代、理容師になるには理髪店に入門し、住み込みで働く弟子となり、親方から技術を学び、一人前になるまで数年の期間を要しました。修行は、掃除、洗濯、道具の掃除、洗髪・髭剃りに使うお湯を沸かすことから始まり、やがて理髪椅子に座ったお客様の対応をする親方の近くで技術を盗んで覚えていきました。入門は小学校卒業したての12歳の頃。

開拓の村に移築した理髪店が北海道神宮の通称裏参道に開業した大正期の男子平均身長は135cm程度でした。「下駄」を履くことで、親方の手元が少しでも良く見えるように工夫をして学ぶ修行中の弟子の姿が、ここにありました。

イチオシ ichi - oshi

端午の節句

EVENT イベント



© 北海道歴史文化財団

4月18日（土）から、端午の節句のイベントとして旧札幌停車場前と子どもの広場に「こいのぼり」を掲揚します。また同日から道内各地から寄贈された「五月人形」を数棟の建造物に合計10台展示します。

GW終了の5月6日（水）まで展示していますので、お越しの際は、大きな「こいのぼり」と様々な年代の「五月人形」をご覧ください。

最後までお読みいただきありがとうございました。 （発行：一般財団法人北海道歴史文化財団 2026.3）